

## 施策分析シート（令和5年度）

No1

## 施策の現状・課題・今後の方向性

現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>○区民の身近な交通機関「コミュニティバス」は、平成17年の「さくら」以降、「汐入さくら」「町屋さくら」の導入を進めた。平成30年度までは、1日平均乗車人員は増加傾向にあったが、新型コロナウイルス感染症の影響により利用者が減少し、町屋さくらについては採算性の問題から令和3年度をもって運行を終了し、令和5年度、このルートの一部においてタクシーを活用した実証運行を開始した。また、運行継続のため、令和5年3月31日に運賃の値上げを行った。</li> <li>○区では、これまでに4か所の自転車等駐車場、11か所の自転車置場を整備し、約6,000台の定期利用及び約1,300台の一時利用が可能となっている。南千住駅前や町屋駅前では、民間駐輪場の整備が進み、いずれも収容可能台数は区営自転車駐車場の規模に匹敵する1,000台以上となっている。新型コロナウイルス感染症の影響による働き方の変化に伴い、自転車駐車場の定期登録者数が以前の9割程度に落ち込んでいることを勘案し、指定管理の方式を利用料金制から使用料制に変更した。また、令和4年9月に自転車総合計画を包含した「荒川区自転車総合活用推進計画」を策定した。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○コミュニティバス未導入地域で新規路線の開設要望が寄せられており、町屋地域の実証運行は今後の区内の公共交通の検証へ活用する必要がある。</li> <li>○放置自転車数は大幅に減少しているものの、駐輪場の確保台数や駅と駐輪場の距離など、区外の駅を含め、駅によって対応すべき課題が多様化している。自転車の大型化に対応できるよう駐車場や置場を整備していく必要があり、今後、再開発が予定されている地区においては、適切な駐輪スペースを確保する必要がある。また、放置自転車対策業務の効率化を進めていく必要がある。</li> </ul>	
課題		
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>○区内全域において福祉的な視点での新たな交通支援を検討していく。また、コミュニティバス利用者のニーズを的確に捉え、運行事業者と連携して更なるサービス向上を目指し、事業の継続性を確保する。</li> <li>○自転車の放置禁止区域の拡大に向けた調整や、自転車大型化への対応を進めるなど、効果的な放置自転車対策を検討していく。また、駅前再開発事業に当たっては、大型自転車駐輪場の整備を進め、それぞれの状況に応じた放置自転車対策及び駐輪空間の確保を進めていく。</li> </ul>	

施策の分類		分類についての説明・意見等
5年度	6年度	
推進	推進	交通機関の充実や交通不便地域における利便性の向上、及び快適な道路環境の整備を推進していく。

施策を構成する事務事業の分類								
事務事業名	事務事業No	行政費用（千円）		決算額（千円）		施策推進のための分類		分類についての説明・意見等
		3年度	4年度	3年度	4年度	5年度	6年度	
日暮里駅総合改善事業	11-01-17	4,744	4,907	—	—	継続	継続	日暮里駅整備(株)の適切な運営に関する調整を継続して実施する。
コミュニティバスの利用促進	11-01-18	27,456	14,779	9,021	57	推進	推進	利用者への更なるサービス向上策等の検討を行い、より良いコミュニティバスを目指し、事業を推進していく。
放置自転車撤去	11-03-14	120,073	112,935	93,684	96,251	推進	推進	放置自転車を撤去することにより、安全で快適な生活環境の維持・向上を図る事業であるため、推進する。
自転車置場・自転車駐車場管理運営	11-03-15	147,520	153,435	43,886	49,627	推進	推進	放置自転車対策として、自転車を駐車するための施設を整備し、区と指定管理者それぞれにおいて、効率的・効果的な管理運営を行う事業であるため、推進する。
合 計		299,793	286,056	146,591	145,935			